



今回集まったメンバーは総勢29名。10代～60代まで幅広い世代、そして高校生から経営者まで多様な受講生が集まりました。全6日間のプログラムにおける受講生の生の感想をご紹介します！



TOKYO Touch

体験価値を提供する立場にいるとき、提供する側は自分の感情に向き合わなければならないと強く感じた。それにより、お客様に体験してほしい感情をお届けすることができる。観光は何か価値を与えることができるため、自ら生み出す必要があると学んだ。
(10代女性)



思考することの難しさを痛感するとともに、アイデアが生まれた時の達成感を感じることができた。何気ない材料もストーリーやブランディング次第で価値が生まれるという点を忘れず今後の実務に活かしたい。
(20代男性)



アートというワードになんとなくオシャめいて馴染みづらいものだと感じていたが、作家ごとの視点が結晶化したものと理解できた。そう考えると、体験(観光)や人間生活全てアートになることに気づき、急に身近なものに感じられるようになった。
(30代女性)



他者との対話の中で生まれる発見の尊さを改めて知った。自分の考えたことを、人に伝えるにはどうしたら良いのか？ サービスや企画について関わる人や細部まで解像度を上げて考える、当たり前だが学び直しができた。
(40代女性)

自分のやっていること(街道歩き)が将来のツーリズムにとって有望であることを改めて確認できた。もわっと言葉にしにくいことを言語化することの大事さを改めて認識できた。
(50代男性)



アートの純粋さと経営学のあざとさの間で飄々と揺蕩う知の冒険と、都市遊歩のスリリングな弁証法の心地よさ。
(60代男性)



募集時期

NEXT COMING UP

第2期

創造的思考力による「おもてなし」のデザイン

第1期は、アート&デザインの視点で、独自性の高い観光資源を創り出すアプローチを習得しました。来る第2期では、お客様の心に残る経験をデザインするための考え方を座学と演習で学びます！

2025年秋、募集告知(予定)
詳細はWEBサイトにて随時公開
公式WEBサイト: <https://vcp.musabi.ac.jp/tourism>



note



コワーキングスペース『Ma』

本講座の会場でもある、「Musashino Art University Ichigaya Campus Co-Creation Space -Ma-」は、「市ヶ谷」駅から徒歩3分の会員制コワーキングスペースです。大学に併設されており、アート・デザインに限らず様々なクリエイティブな仕事に関わる方の参加を歓迎しています。詳細はコチラ ▶ <https://ma.musabi.ac.jp/>

●東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」について
東京都では、観光関連事業者の経営力向上を図り、観光産業の活性化につなげることを目的として、大学等と連携して観光関連事業に従事する者等に向けた新たな教育プログラムの開発等の支援事業を実施しています。武蔵野美術大学は2024年度より連携大学に選定されています。



ENJOY TOURISM
CONCEPT

アート&デザインの視点で
TOKYOを『観る』、その魅力に『光』をあてる。

東京には、歴史的名所の街や、食やエンターテインメントがメインストリートを埋め尽くす街など、世界中の来訪者を惹きつけるハードやコンテンツが充実していますが、繁華街を外れた日常の街並みと地域の暮らしにも、まだまだ沢山のユニークな魅力が隠れています。いつもより少しだけ歩くスピードを落とし、偶然の出会いや予想外のできごとに身を委ねたときに得られる新たな気づきを、まだ誰も気づいていない東京を、描く。
-Designing TOKYO's Experience.

DAY 1

DAY1では、丸山教授による「VUCA時代の観光に求められる視点」、石川准教授による「都市における体験を考察するためのアート」についての講義に加え、note株式会社の森本さんから「顧客との対話を生むコミュニケーションのつくりかた」についてお話しいただきました！



DAY 2

DAY2は、Yumiko Chiba Associatesの千葉由美子さんを迎え、「アート&デザインが息づく街づくり」をテーマに、丸山教授・石川准教授の3人で鼎談を行いました。その後、会場『Ma』での時間の過ごし方をテーマに、グループでアイデアを提案しました！



DAY 3

DAY3では、モダンラグジュアリーホテルである、メズム東京、オートグラフ コレクション 総支配人の生沼久さんに「インバウンド顧客が期待する“TOKYO”」をテーマに講義いただきました。さらに、メズム東京の新しいサービスとマークを考えるグループワークを実施しました！



メズム東京、
オートグラフ コレクション総支配人
生沼 久



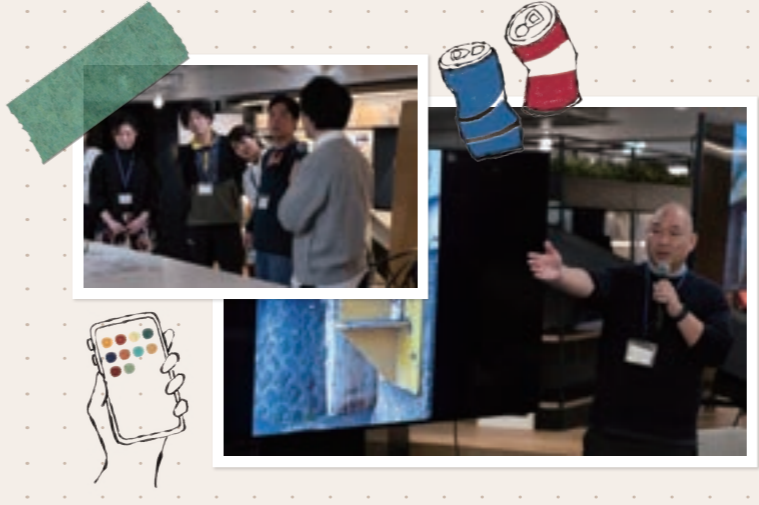
DAY 4

DAY4は、清泉女学院大学准教授およびデジタルハリウッド大学客員教授の榊原直樹さんにお越しいただき、「無意識の差別や障害に気づくためのデザイン」について、講義していただきました。さらに、合理的配慮のための意思決定の方法を、コンセンサスゲームを通して学びました！



DAY 5

DAY5は、「新しい観光体験をデザインする」というテーマで、代々木から千駄ヶ谷までフィールドワークを行いました。DAY1から4までで学んだことを思い出しながら、フィールドワークを通じて感じたことや体験したことをヒントに、グループで1つのアイデアを練り上げました！



DAY 6

DAY6は、DAY5で考えたアイデアの発表と講評を行いました。丸山教授と石川准教授からの鋭い質問や改善点を通じて、さらにアイデアを深めました。DAY5のフィールドワークからDAY6の講評までを通じて、既存の観光資源に頼らない新たな観光のあり方を学ぶことができました！

先生からのコメント
TEACHERS

2018年に経済産業省・特許庁により「デザイン経営」宣言が示され、本講座はその有望プロジェクトの観光を実践に移す支援を目的に開講しました。募集時の想定を超えた多様なキャリアや個性のメンバーが集い、チームの力でワクワクする「東京らしさ」を描いてくれました。



武蔵野美術大学造形構想学部 教授
丸山 幸伸

観光とアートをとともに考えることは、環境そのものを鑑賞する視点につながります。その視点を育むためには、ウォークアブルな街づくりが不可欠です。日常の中に非日常を見出し、その楽しさを感じる眼を育てていってください。



武蔵野美術大学造形構想学部 准教授
石川 卓磨